

# GIFTS & TASKS

November- 2019

日本語版



ご挨拶申し上げます。

最もよくある信徒からの質問のひとつは、所属していた共同体から離れてしまって、近くにマリアニストの信徒がいないときに、新しい MLC を始めるやり方について知りたいというものです。

それで今月は、ミズーリ州セントルイスのジャネット・ペンスさんの話です。彼女は自分の小教区にある小さな信仰共同体に「マリアのディスカッショングループ」を紹介しました。これがひな形や手本となって他の人にマリアが持つ力を伝えるやり方だと思いつきました。

ジャネットさんへのインタビューは次のとおりです。特にマリアニスト家族がいない場所にいる場合には、このアイディアを試してみてください。

時として、このような小さな種が、本格的な MLC の形成に成長していくことでしょう。私たちの霊的な家族に、他の人を招くひとつの方法です。

皆さんに祝福がありますように。

マルセタ・フレミング・ライリー

北米、アジア、アイルランド、オーストラリア地区代表



## マリアを中心に共同体を始めるやり方

ジャネット・ペンスへのインタビュー  
ミズリー州セントルイスの信徒

### ジャネット、あなたをマリアニスト家族へ導いたものは？

私はカトリック信者として育ちました。両親は、聖家族に対する敬虔な信仰を私に教え、心に大きな種をまかれました。マリアは私たちの信仰と教会の母として、尊敬され崇敬されていました。



主人のジェリー（写真）と私は、ミズリー州セントルイスにあるカトリック学校に通わせていた3人の息子を育てました。2010年に、2人の息子がセント・ジョン・ビアンニー高校からマリアニスト賞を受賞しました。私たちは、この特別な賞を同じ日に受賞した2人の息子の最初の親でした。このことはとても大切にしていたマリアニスト信仰とカリスマを反映していました。この経験によって、私はこのカリスマをさらに多くの生活や家庭に広めたいという非常に深い望みを心の中に感じました。

### カリスマを広めるための最初のステップは何でしたか？

私は学園長であるメアリー・ケイ・フィッツパトリックと話しました。すると彼女は、ビアンニーで小さな信仰共同体を始めることについて、マリア会のアル・マックメナニー神父と連絡を取りました。私たちはこの信仰共同体に参加を促すために、ビアンニー高校の父兄と卒業生を招きました。その後、二つの信徒マリアニスト共同体が創設されました。

これはより幅広い聴衆に「マリアのディスカッショングループ」を形成するという私の情熱に火をつけました。マリアのディスカッショングループは、聖母マリアとの豊かな関係を分かち合い、教え、発展させています。これはマリアの徳、マリアの息子と私たち一人ひとりの一体感、マリアの神に対して素直に心を開く姿勢を強調しています。ロザリオの祈りと共に、それは私たちの生活を高めます。

どのようにしてこれらのマリアのディスカッショングループを始めたのですか？

私は小教区の主任司祭に近づき、マリアのディスカッショングループを始められるかどうか尋ねました。彼は私に2つのグループを提案しましたひとつは夕方、もうひとつは午前中で。子供たちを学校に送って行った後に参加する機会がある若い母親のためのものです。現在、小教区では活動が盛んな2つのマリアのディスカッショングループがあります。私たちのミッションは、マリアの心を通して家庭での生活を支援することです。

私たちはマリアを中心とした小さな共同体で信仰を分かち合うことによって、小教区全体でマリアについての知識を強めています。教皇ベネディクト16世は、次のように述べています。「**キリスト教会**について言われていることすべては、マリアについて言われていることなのです。逆もまた同様で、教会はマリアを見ることによって、マリアが何であるかとその意味するものを具体的に学びます。マリアは教会の鏡であり、マリアの存在が純粋な尺度であり…」

このマリアのディスカッショングループではどのような資料を使っていますか？

小教区の共同体でマリアのディスカッショングループを始めるにあたり、多くの選択肢があります。マリア会のクエンティン・ハッケンワース師の「イエスの徳に学ぶ」は、始めるのに良い本です。読者がマリアの目を通して、イエスの徳を学ぶのを助けます。聖アウグスチノ修道会によるブランド・ピターのビデオ「マリア、教会と神の母」も、始める際のもうひとつの優れた教材です。このビデオの中には、「マリアの教義は、全体として聖書を背景として見ると、生き生きとしたものになります。…」とあります。

それぞれの小教区で、マリアニストの小さな信仰共同体を始めたいと考えている人たちに、どのようなアドバイスをしますか？

福者シャミナード神父は、至誠なる聖母マリアの周りに集められた小さな信仰共同体のために精力的に働きました。小教区には、すでに信仰を分かち合う共同体があります。そこはマリアのディスカッショングループを紹介する絶好の場所です。その人たちは、私たちのMLCと同じではありませんが、今日の世界で非常に必要とされている、教会のマリア的側面を信徒に紹介する最初のステップです。時が経つにつれて、マリアのディスカッショングループが、本格的なMLCとして養成を始める決定をするかもしれません。

これらのディスカッショングループが、世界中のいたる所でマリアと指先をつなぐ手助けとなることを祈ります。

皆さんの小教区でマリアのディスカッショングループを始めることに関する情報をさらにお求めのかたは  
ジャネット・ペンスに連絡してください。